

大分寺婦

第28号

発行
大分教区
寺族婦人会連盟

〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0146

新年のご挨拶

大分教区寺族婦人会連盟 委員長 **野本恵子**



新年を迎え慈光のもと、益々ご健勝にてお念仏相続のことと存じます。

昨年(2014年)の6月に宗門では法統継承式が行われ第25代専如さまが、ご門主となられ、流豆美お裏方が仏教婦人会総連盟の総裁に就任され、新たな時が刻まれようとしています。浄土真宗のみ教

えを依りどころとする私たちも、お念仏を喜びとし、新たな一歩を踏み出したような気が致します。さて、昨年(2014年)も自然災害に遭遇され、沢山の方が尊い命を落とされ、人間の計らいではどうにもならない事を知らされました。未曾有の東日本大震災から3年が経ち確かに復興は進んでいるけれども、東北のこと忘れてないからと伝えたいです。仙台別院の毎月のお茶会へ各組よりお菓子を頂きありがとうございます。5月の寺婦研修総会においても名取市仮設住宅にお住まいの方の手作り作品を購入して頂き、おかげさまで全品物完売致しました。心から感謝

申しあげます。仮設住まいの方々のわずかな小遣いにと思っています。寺婦役員で名取市の仮設住宅へ傾聴ボランティアに行つた際、語り部タクシーで石巻から海岸線を3時間走りました。石巻の日和山で一人海を眺めていた老人に出会いました。津波で亡くなった息子に毎日、海に見える丘から話し掛けているとぼつり。何よりも辛く悲しい思いを伝えたかったのだと思います。お茶会に参加した仮設住宅の方々も心病んでいるのを肌で感じました。私たちのささやかなボランティアでは何も変わらないのは良く分かってはいるけれども、何か行動をおこさねば、私の心が痛すぎるのです。念仏者の一人として、共に支え合い、念仏に出会えた仕合わせを共に慶べる社会にしたいものです。各組では、魅力ある寺を目指し様々な形で寺族の方々が努力されているのを本願寺新報で拝見し、社会に向かって発信する事の大切さを感じています。生活信条を唱えつつ、寺婦としての役割を果たしたいものです。

合掌

● 研修総会 ●

6月10日(火)に、平成26年度大分教区寺族婦人会連盟研修総会が行われました。今年(2014年)は四日市別院本堂にて開催され、教区内各組から112名の方が参加しました。

午前の開会式では、讃仏偈をお勤めした後、沙々木学海教務所長のご挨拶、野本恵子寺族連盟委員長のご挨拶がありました。そして、2013年度活動報告、決算、ならびに監査報告、2014年度活動計画案、予算案が審議されました。東日本大震災の支援活動としては、昨年度から引き続き、東北教区で行われているお茶会で振る舞われるお菓子を毎月送ることになっています。また昼食の後には、東北の方々が作られた海苔やおりを皆様に買っていただきました。

午後からは、長倉伯博先生に「温もりと笑顔のあるお寺を目指して〜終末期の患者さんやご家族から学んだこと〜」と題してのご講話をいただきました。

先生は鹿児島市善福寺住職で、鹿児島県緩和ケアネットワークでもご活躍です。医療や福祉と協力し、宗教の立場から患者さんの心理的・精神的痛みと向き合っておられます。

先生は笑顔を絶やさない方で、患者さんもきっと安心して心の内を話せるのではないかと感じました。ご講話では緩和ケア病棟での事例を挙げながら、患者さんのお話しを聞く上で大切なことを教えてくださいました。

すぐに答えを出す解決者になるのではなく、伴走者となること。患者さんの悲しみ、やるせなさを受け止めるためには、聞き手は患者さんが感情を吐きだすための「ごみ箱」になる位の覚悟が必要だということ。沈黙を共有すること、つまり沈黙は大切な対話の時間であることなどをお話してくださいました。

お寺では、悲しみの中にいる方とお話しする機会があります。そのような時に、先生のお話しをそっと思い出したいと思いました。



総会議事



は～い いらっしゃい(受付)



(上) 沙々木学海 教務所長挨拶



(下) 熱心にお話を…



野本恵子委員長 挨拶



ご講話 長倉伯博 先生



東日本グッズ販売

東日本大震災

— お茶会活動に参加して

11月26日 13時15分 仙台空港着。14時 名取市箱塚桜団地仮設住宅集会所 お茶会11名参加。18時 東北教区教務所長さんより、お茶会にお菓子を毎月送っている活動についてのお礼の言葉とご挨拶をいただき、東北教区センターが支援金で改修工事がなされた1階サロン活動、



名取市箱塚桜仮設住宅

2階宿泊施設、職員さんより案内されました。



名取市美田園第一仮設住宅

11月27日 8時20分 ボランティアセンター集合、簡単に自己紹介をして、別院職員1名、ボランティア参加者私達3名、福岡教区仏教婦人会1名計5名で出発。10時〜11時30分 名取市美田園第一仮設住宅集会所に



名取市植松入生仮設住宅

てお茶会18名(内男性1名)参加。12時昼食 閑上復興市場にて。13時30分〜15時 名取市植松入生仮設住宅集会所にてお茶会16名(内男性3名)参加。17時 ボランティアセンターにて、ミーティング反省と報告会。

11月28日 仙台空港15時45分発 搭乗して帰路に着く。上記の日程で、委員長・副委員長2名計3名で、お茶会に参加いたしました。昨年は、名取市箱塚屋敷仮設住宅にてのお茶会で、お会いした方達とは、お会い出

来ず大変残念でしたが、新たな出会いに感謝いたしております。お茶会では、昔なつかしい歌を声高らかに唄い、委員長さんによる詩の朗読、お茶を飲みながら語りあい、別府音頭、炭坑節を輪になって踊り、「閑上大漁節」を元舞踊の師匠さんの指導により笑いの渦が出来ました。震災から3年8ヶ月以上経つた今、人々は震災の記憶がうすれつつありますが、傾聴の心を持ってひたすら心で聴いて受けとめ、苦しみ悲しみに寄り添い、



災害支援センター

私達は決して忘れないで、長い目でそれぞれ出来る小さな積み重ねの支援活動を次に繋げるのが、大切な事で、短い時間でしたが、出会えた喜び、又の再会を約束してお別れして来ました。是非、次へと繋げていける事を念じて……。

●東日本震災関係●

研修総会(6/10)で販売しました、「海苔」や「しおり」の売上げ総額は、82,500円

でした。ご報告いたします。尚、他にも関連グッズ等あります。左記に連絡いただければ、ご購入できます。よろしくお願ひします。

【問合せ先】

宮城県名取市箱塚
桜団地仮設住宅
代表者 市川 一子
090・1930・8308

おくやみ

平成二十六年は左記の方がご逝去されました。

謹んでお悔やみ申しあげます。

○宮崎 美世子(95歳)

由布院組 専念寺 前坊守
平成二十六年 六月 四日

○佐藤 蘭女(88歳)

日田組 明圓寺 前坊守
平成二十六年 七月 四日

○豊田 一恵(92歳)

豊後高田組 西生寺 前々坊守
平成二十六年 七月三十日

○森部 ツギエ(98歳)

日田組 浄徳寺 前坊守
平成二十六年 八月 九日

○羽下 好美(89歳)

院内組 教蓮寺 前坊守
平成二十六年八月二十七日

○松本 かつえ(65歳)

由布院組 明蓮寺 坊守
平成二十六年 十月十九日

○田北千里(96歳)

岡組 南林寺 前坊守
平成二十六年十一月十七日

お内佛報恩講のご案内

日時：2015(平成27)年2月5日(木)
10時40分～受付
場所：本願寺別府別院「会館お内佛」(2階)
講師：大在 紀先生(大海組・長光寺)

あとがき

おほひなるものゝ
ちからにひかれゆく
わかあしあとの
おほつかなしや

—九條武子

昨秋、前進座特別講演『如月の華』—九條武子ものがたり—が中津、大分両会場で上演されました。

お念佛をよろこばれ、お念佛とともに、生きぬかれた四十二年というご生涯は、短くも尊いものであったと思います。

九條武子さまの思いや、行動力にふれ、これからどのように生きるべきか、改めて考えるご縁にあわせていただきました。

二月七日の如月忌には、新たな気持ちでお参りさせていただきますことを楽しみにしています。

